

令和2年度 事業報告書

特定非営利活動法人なかの里を紡ぐ会

1 事業の成果

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大により講演活動や緩和ケアのイベント等は自粛や中止が相次いだ。年度後半になり、徐々に再開し、地域住民に対して「コロナ禍における在宅療養と家族支援」というテーマで2回啓発活動、また、東京都区西部（中野区・杉並区・新宿区）の在宅認知症対策ケア・ネットワークにおいて「ホームホスピスにおける食支援」というテーマで講演を行った。認知症みんなで考える中野ネットワーク（MIKAN）に参加し、区民啓発の映画会を開催する企画を計画したが緊急事態宣言発令の為、急遽中止することとなった。現在は定例会議に参加し、企画検討中。
- ② ホームホスピス事業は通年満室で経過し、5人が里の家で暮らし、看取りはなかった。3月に（一社）全国ホームホスピス協会のレビューを受け「認定ホームホスピス」の認証を受けた。中野区フリー活動栄養士会と提携による管理栄養士の調理支援は感染防止の為に、頻度が半数となったが、介護食や食中毒防止について研修講師を依頼し、研修会を行った。通所介護事業は新型コロナウイルスの感染防止の観点から年度当初に縮小営業を余儀なくされたが、その後は感染対策に注力して再開し、年度後半は例年近くに利用者が戻りつつある。居宅介護支援事業は要支援を含めて月平均42件の利用者のケアマネジメントを継続。令和元年度より延べ利用者数が増加している。訪問介護事業は「ホームホスピス里の家」の入居者を中心に訪問し、純粋な居宅利用者は1名のみと減少している。里の家の利用者は重度化しつつあり、発熱者に対するPPE装着の訪問が増えている。
- ③ 訪問看護ステーションは難病や終末期療養者、認知症及び精神疾患を持つ利用者等に訪問し、看護師1名が増員されたこともあり、延べ利用者数が増加している。また、事業所連絡会の訪問看護部会に参加し、代表を務めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【119,171,314】円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(円)
保健、医療又は福祉の普及啓発及びネットワーク構築事業	・地域の家族介護教室にて啓発事業 テーマ「コロナ禍における在宅療と家族支援」 主催：中部すこやか福祉センター	令和2年 11月15日・12月20日	東部高齢者会館	1人	一般住民	20人	0
	・医療・介護従事者向け講演会 「ホームホスピスにおける食支援」 主催：区西部在宅認知症高齢者対策ケア・ネットワーク	令和3年2月20日	エーザイ株式会社（新宿区）	1人	区西部の医療・介護従事者	90人	
	・MIKAN（認知症みんなで考える中野ネットワーク）に参加	令和3年 11月～	メールおよびZoomにて参加	2人	一般住民	映画会開催は緊急事態宣言の為中止。事業企画中	
	・機関紙を3回発行	5月・10月 1月	—	5人	会員・関係機関・一般住民	毎回500部発行	

<p>終末期療養者及び要介護高齢者の生活支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常時満室で5人が入居されていた。発熱者が出るたびに個室隔離と感染防護服の装着などの感染対策を行った。 ・令和3年3月に全国ホームホスピス協会のレビューを受けて「認定ホームホスピス」となった。 ・1月 三周年記念誌を発行した。運営推進会議及び家族会は新型コロナウイルス感染防止の為に開催できなかった。 ・中野区フリー活動栄養士会と献立及び調理相談、訪問調理支援の契約を行い、連携して食に関する支援を行った。緊急事態宣言期間も多く、訪問は予定の半分以下となった。 	<p>令和2年4月より通期</p>	<p>中野区松が丘 2-9-4</p>	<p>13人</p>	<p>一般住民</p>	<p>延べ利用者数 60人</p>	<p>21,281,564</p>
<p>介護保険法に基づく訪問介護事業、介護予防訪問介護事業及び第1号訪問事業</p>	<p>「ホームホスピス里の家」の入居者及び在宅の高齢者の介護、生活支援を行った。 3月末利用者数 6名。</p>	<p>令和2年4月より通期</p>	<p>中野区松が丘1-8-14</p>	<p>10人</p>	<p>要介護・要支援認定を受けている者</p>	<p>延べ利用者数 介護97人 総合事業12人</p>	<p>21,690,922</p>
<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業</p>	<p>実施せず</p>	<p>/</p>	<p>/</p>	<p>/</p>	<p>/</p>	<p>/</p>	<p>0</p>
<p>介護保険法又は健康保険法に基づく訪問看護事業及び介護予防訪問看護事業</p>	<p>看護師5人、理学療法士3人計8人体制。 難病や精神疾患、終末期療養者等、医療依存度の高い利用者にサービスを提供した。 管理者は中野区事業所連絡会訪問看護部会の部会長を務めた。</p>	<p>令和2年4月より通期</p>	<p>中野区野方2-60-8</p>	<p>8人</p>	<p>要介護・要支援認定を受けている者 医師より訪問看護指示書が発行された者</p>	<p>延べ利用者 介護保険671人 医療保険274人</p>	<p>49,014,863</p>
<p>介護保険法に基づく地域密着型サービス事業、介護予防通所介護事業及び第1号通所事業</p>	<p>アットホームな環境で、季節感を大切にしながら運営を継続。新型コロナウイルスの感染が拡大していく4月末から5月にかけては止むを得ず、縮小営業とし、職員の計画的な休職と雇用調整助成金の申請を行った。 地域密着型サービスとしての運営推進会議は感染防止を理由に開催できなかった。</p>	<p>令和2年4月より通期</p>	<p>中野区中央 3-27-19</p>	<p>10人</p>	<p>要介護・要支援認定を受けている者</p>	<p>延べ利用者 2036人 月平均 169人</p>	<p>23,357,543</p>

<p>介護保険法に基づく居宅介護支援事業</p>	<p>要支援及び要介護高齢者のケアプランの作成 その他ケアマネジメント 要介護認定調査</p> <p>地域活動としてまちなかサロン「ほっとサロン南口」の運営に携わった。</p>	<p>令和2年4月より通期</p>	<p>中野区 松が丘1-8-14</p>	<p>1人</p>	<p>要介護・要支援認定を受けている者</p>	<p>延べ利用者 要介護者 365人 要支援者 142人</p>	<p>3,826,422</p>
<p>健康及び介護、人権擁護に係る相談支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・副理事長(主任介護支援専門員)が「ほっとサロン南口」の運営に参画し、よろず相談事業を行った。 ・里の家入居待機者に対する電話相談、訪問による相談支援を実施 	<p>令和2年4月より通期</p>	<p>桃園区民活動センター 待機者宅</p>	<p>2人</p>	<p>一般住民</p>	<p>主として中野区民不特定多数</p>	<p>0</p>